

S&Uだより

safety & useful 発行 No306

2023年5月10日

(株) マルジン

福井 TEL 0778-27-7200 FAX0778-27-7201

名古屋 TEL 0586-81-1895 FAX0586-81-1896

新潟 TEL 0258-94-5772 FAX0258-94-5773

福島 TEL024-983-3970 FAX024-983-3971

いつもなら 高地や北日本のスキー場は 5月の連休が稼ぎ時で たくさんの人がゲレンデをにぎわすところですが 今年4月の夏日続きで 雪の量を保持できず4月末にて この春の営業は終了というところが ほとんどだったようです。4月に雪が降ったりしたこと 以前はよくあったものですが…夏日続きというのも 先行きが思いやられます。世界気象機関(WMO)は、2023年1月に北極海・南極大陸の海水を合わせた世界の海水面積が史上最低水準を記録したと発表しました。より具体的には、南極大陸の海氷は史上最も低く、北極海の海氷は史上3位の低い水準をとり、南半球・北半球合わせて史上最低の水準を記録しました。ただし専門家によると、今回の記録は必ずしも海氷減少のトレンドを決定づけるものではなく、気象に関連した変動の範囲内である可能性も否定できないということです。2023年2月の研究で、「終末の氷河」と呼ばれる南極のスウェイツ氷河の融解が急激に進んでいることが分かったそうです。人が住めないほど極寒の南極。人による環境汚染が地球上で最も少ない地域のため、わずかな変化でも南極に影響を与えてしまいます。だからこそ、南極は「地球の健康のバロメーター」とも言われているのです。近年問題視されている、太陽光に含まれる有害な物質から地球を守るオゾン層の破壊や二酸化炭素による地球温暖化などの状況を測る国々の基地が南極にあります。ある研究によると、地球温暖化の影響により2011年～2020年の間で、世界の平均気温が1.09℃上昇しているという結果が出ています。もし現在のペースで気温の上昇が止まらず2℃を越えると、2060年頃から南極の氷の融解が急激に進むと言われており、南極の氷がすべて溶けると、今より海面が40～70m上昇すると考えられています。70mと言えばタワーマンションの23階程度の高さ。日本だけでなく世界が海の中に沈んでしまいます。信じられないことが現実になる未来が迫っていることを、知らないまま迎えるのは怖いですよ。いずれにせよ、海水面積は気温と並ぶ気候変動の重要な指標であり、その気温は過去8年間史上最高水準の値をとっています。この1月は史上7番目に暖かい月で、新年に異常な高温に見舞われた欧州に関しては史上3番目の暖かい月でした。とくに北極では世界平均の2倍の速度で温暖化が進んでいるとされ、その結果、44年間にわたる衛星観測によっても北極海の海水が近年急激に後退していることが確認されています。今の若者達が 直面するであろう氷の融解のターニングポイントでどんな選択をしていくのでしょうか？

さて、マルジンもこの春より 新卒採用のマルジンマンや ベトナムからの新人技能実習生が社員として働き始めました。これから暑くなって大変過酷な現場状況に立ち向かうこともあるでしょうが ともかく怪我や事故に気を付けて 愛されるマルジンマンに成長してもらいたいと思います。実習生といえば、政府の有識者会議は、外国人が働きながら技術を学ぶ技能実習制度を廃止すべきだとした上で、人材確保などを目的に中長期的な滞在を円滑にし、働く企業の変更も一定程度認めるよう緩和する新たな制度への移行を求めたたたき台を示しました。外国人が日本で働きながら技術を学ぶ技能実習制度は、発展途上国の人材育成を通じた国際貢献を目的とする一方、実際は労働環境が厳しい業種を中心に人手を確保する手段になっていて、トラブルが相次ぐなど、目的と実態がかけ離れているといった指摘も少なくありません。また、3年以上の実習を修了した技能実習生が試験を免除される「特定技能」により、円滑に移行できるようにして、中長期的に活躍する人材の確保につなげるとしています。新たな制度では人材育成だけではなく、働く人材の確保を主な目的に掲げ、これまで原則できなかった「転籍」と呼ばれる働く企業の変更も、従来に比べて緩和し、一定程度認めるとしています。実習生の受け入れを仲介してきた「監理団体」について、受け入れ企業への適切な監査を怠り、行政処分を受ける例が相次いでいるため、新たな制度では企業からの独立性の確保など、要件を厳格化するとしています。実習生、受け入れ企業 それぞれが良い方向で変化していけるよう 私たちも取り組んでいきたいと思っています。

- 技能実習制度の原案を巡る
中間報告書のポイント
- 技能実習制度を廃止し、人材確保と人材育成を目的とする新制度の創設を検討
 - 新制度の対象職種や分野は、特定技能制度と一致させる方向で検討
 - 新制度では、従来よりも「転籍制限」を緩和する方向で検討
 - 技能実習制度の監理団体は新制度でも存続させるが、認定要件は厳格化する方向で検討
 - 外国人労働者の日本語能力向上に向けた取り組みを充実

マルジン 5月のカレンダー							<モノレールレンタル料(賃料)の一覧表>
日	月	火	水	木	金	土	「モノレールレンタル料(賃料)の一覧表」 本年4月に改訂されております。 ご入用の方は マルジン (0778-27-7200) まで ご連絡ください。
	1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13	
14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31				

2023年5月第306回は～モノレールレンタル料(賃料)の一覧表改訂～について

令和5年4月改訂の「モノレールレンタル料(賃料)の一覧表」からの抜粋です。
ご入用の方は また マルジンの本社でも営業所でも どうぞご連絡ください。

モノレール・レンタル費算出(例)

使用機材:500kg/45°積 動力車+運転台車+土木平台車
使用資材:単軌条レール 250m、ポイント 1基

使用期間:3ヶ月

※資機材のレンタル価格は各種とも平均単価を参照

	種 別	機 種	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
①	動 力 車	500kg/45°	1	台	1,002,900	1,002,900	表-1・表-2・表-4～表-6参照
②	土 木 平 台 車	500kg積	1	台	265,600	265,600	表-1・表-2・表-4～表-6参照
③	運 転 ・ 乗 用 台 車	1人乗	1	台	332,000	332,000	表-3参照 牽引車200kg積/45° 3人乗まで可 牽引車500kg積/45° 5人乗まで可
④	レ ー ル 資 材	500kg用	250	m	6,650	1,662,500	表-1・表-2・表-4～表-6参照(実測延長)
⑤	ポ イ ン ト	500kg用	1	基	70,100	70,100	表-1・表-2・表-4～表-6参照
⑥	資 機 材 費 計					3,333,100	①+②+③+④+⑤
⑦	返 納 整 備 費		15	%		499,965	⑥資機材費の15%以上
⑧	架 設 ・ 撤 去 費 (モノレール技士)		17.0	人	35,000	595,000	表-15参照(参考:全長L(m)の歩掛算出式)
⑨	架 設 ・ 撤 去 費 (モノレール設置工)		55.5	人	25,000	1,387,500	表-15参照(参考:全長L(m)の歩掛算出式)
⑩	ポ イ ン ト 設 置 ・ 撤 去 費		1	基	118,500	118,500	P.18ポイント設置撤去歩掛参照
⑪	人 件 費	-	-	-	-	2,101,000	⑧+⑨+⑩
⑫	諸 雑 費	回	20	%		420,200	⑪人件費の20%
⑬	保 守 点 検 費 (レール構造)	2 回	1.6	人	35,000	112,000	表-12参照
⑭	保 守 点 検 費 (動力車・台車・乗用台車)	2 回	1.1	人	35,000	77,000	表-13参照
⑮	ル ー ト 設 定 費 (現場踏査)	1 回	1.5	人	35,000	52,500	表-14参照
⑯	運 送 費						実費
⑰	移 動 費						実費
⑱	移 動 費 (日 当)						実費
⑲	小 計					241,500	⑬+⑭+⑮+⑯+⑰+⑱
⑳	法 定 福 利 費		15.5	%		325,655	⑲人件費の15.5%
㉑							
㉒	合 計					6,921,420	⑥+⑦+⑪+⑫+⑲+㉑

金額に消費税は含まれておりません。

注) 1. 動力車、台車、乗用台車、レール等の機材はレンタル料(賃料)で算出してください。

※レンタル料は月単位とします。

※返納整備費は1現場当たりの費用です。

2. モノレール技士による保守点検は1回/月を原則とします。

3. 日常点検は使用者により使用期間中、毎日行うものとします。

4. モノレール設置後、動力車、台車、乗用台車の取扱講習を行い、モノレール取扱講習修了者証を発行します。

5. モノレール取扱責任者、副責任者を決定し、始業点検、日常点検を行って頂きます。

※モノレールの運転、操作は、モノレール取扱講習修了者証を所持している者が行う。

※モノレールの運転の際は、運転台車を装備することを推奨します。

※法定福利費の保険料率は令和3年4月1日現在のものとする